



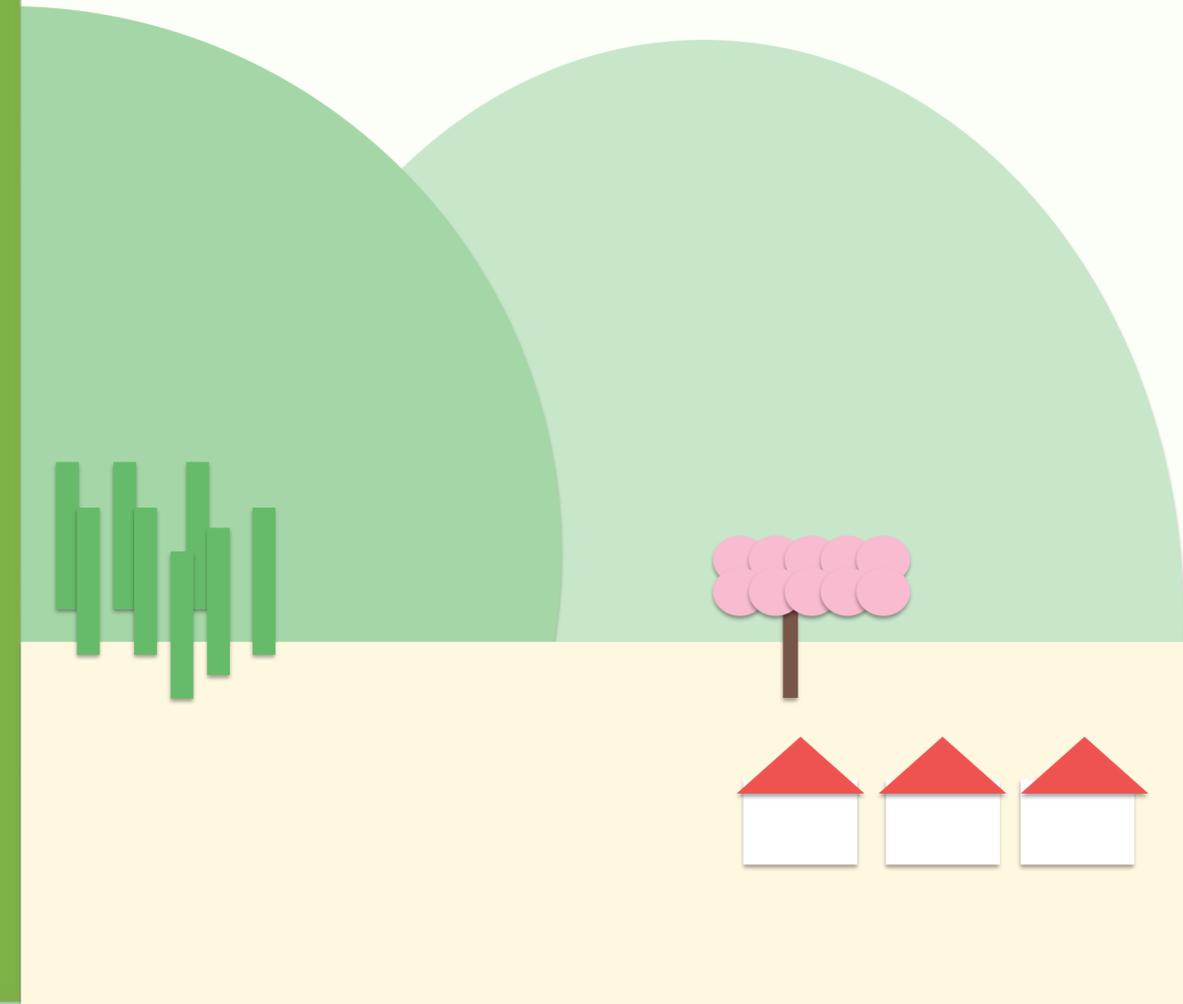
令和7年度 活動報告会

会津若松市大戸地区 地域おこし協力隊

令和8年3月19日

大戸まちづくり協議会

長島三四郎・川内博明・田代新一



目次

01 ミッション

02 今年度活動概要

03 年間の主な取り組み

04 隊員活動報告

05 隊員活動報告

06 課題と今後の展望

ミッション

大戸地区の地域おこし協力隊としての主なミッションは、「地域のコミュニティ活動支援」および「エリアプロモーション」です。

- **地域運営組織の事務局運営** 「NPO法人大戸まちづくり協議会」の事務局として、庶務、経理、会議の調整・運営などの事務全般を担い、協議会の活動を多方面からサポートすること。
- **地域活性化に向けた多様な取組の企画・運営** 地区の特色や課題に合わせたイベントの企画・運営や、以下のような多岐にわたる地域づくり活動に従事。
 - 大戸マルシェ
 - おおとっこ交流イベント
 - ボランティア輸送 など



02 活動概要

特定非営利活動法人 大戸まちづくり協議会



設立時期

令和2年6月30日

目的

身近な地域課題を話し合い、地域の自慢と誇りを発見し、地域の課題を解決するために考え、実践すること

主な活動

- 地場産品の開発・販売
- 地域の健康づくり
- 学校活動支援
- その他、地域課題解決を目指す

年間の主な取り組み



5月

タケノコ採取

地域の放置竹林から多くの竹を伐採、その後、筍を採取し、メンマに加工・販売



8月

おおとっこ交流イベント

地域の子どもたちと一緒に、バーベキュー、流しそうめん、スイカ割りなど楽しむ1日



11月

大戸マルシェ

地域の地産産品を販売
地域イベントとしても定着しつつあり、地域活性化に寄与



3月

健康づくりイベント

芦ノ牧温泉街で、楽しく健康づくりを推進

活動の詳細

産業部会



参加者 10名+協力者

活動内容

春：梅や栗の木の剪定

竹林整備

タケノコ採取 メンマ製造・販売

夏：ハックルベリー・ジャガイモ・ネギ・

秋：さつまいも・大根・栗

栽培・加工 マルシェや郵便局での販売

冬：漬物の製造・販売

成果 地域課題の解決、地域活動の活性化

教育部会



おおとっこ交流イベント、勝多桜保全活動

参加者 地域の子どもたち（約60名）

場所 大戸公民館、大戸小中学校など

内容 ・子どもたち向けのイベントを地域の各種団体と協力開催

・地域のシンボルである桜の保全

成果 地域と子どもたちの関係強化

福祉部会



大戸の健康イベント・ボランティア輸送

参加者 地域住民（イベント最大で50人）

場所 大戸公民館、芦ノ牧温泉など

内容 ・地域住民を病院等へ移送
・住民の健康意識づくりの醸成

成果 健康意識の向上、地域の連帯感強化

05

隊員活動報告

長島三四郎



活動期間

2024年10月～

担当部会

ほほえみふくし部会

主な活動

- 健康づくりイベントの実施
- ボランティア輸送の事務
- 会津若松市イベントの参加
- 地域課題への取り組み
- 協議会事務局業務

隊員次年度目標

様々な地域課題と向き合い、自分にできることを見つけない

取り組み

地域に定住し、持続可能な地域づくり

すべき事

- ・ 住居・仕事の確保（大戸の住民に）
- ・ 事業・組織両面の見直し（目指すのは大戸の「縮充」化）

実施予定

- 住居の取得・修繕後、引越し
- 事業に必要な補助金の獲得
- 収益事業の拡大・安定化
- 地域で持続可能な仕事・行事の創出
- 会員や協力者の呼びかけ

会津若松市大戸町に来て1年半経ちました。私の中で、ここで暮らしたいという気持ちは変わりません。沢山の魅力ある大戸町のまま、将来も楽しく暮らせるように、地域課題の解決を目指します。



隊員活動報告

川内博明



活動期間

2025年11月～

担当部会

すこやかちくりん教育部会

今期活動

- 地域への溶け込み化
- 学校行事のお手伝い
- 地域イベントの参加
- 会津若松市イベントの参加
- 地域課題把握と対話
- 就任からの協議会業務への定着

隊員次年度目標

ワクワクに夢をかけることと大戸住民化への準備

取り組み

地域課題解決実現の可能性の挑戦

すべき事

地域課題解決への必要資格の取得

実施目標

- 農業・鳥獣・住民課題解決の検定取得
- ITスキルとしてAIとセキュリティ資格の取得と担い手子供達への指導
- 地域の食や伝統文化の継承データベース化
- 他の山間部地域成功例の吸収の出張
 - 高知県馬路村成功例の習得
- 協議会ホームページ、通販サイト作成
- 退任後の理想目標への長期計画立案



* 退任後理想目標のジビエハンターのAI作成画像

支援員活動報告

田代 新一（ 集落支援員 ）



活動期間

2025年4月～

担当部会

産業部会（地区の課題を踏まえ）

主な活動

- 梅林管理 → 梅干し製造
 - 竹林整備 → 竹害（地盤の軟弱化・獣害）の抑制
→ メンマ・（今後竹パウダーも）製造
→ 竹灯籠の製作 → 寄付（28本）
 - ハックルベリー栽培 → 健康ジャム製造
 - 野菜栽培 特に大根は → 漬物製造（ビール漬）
 - 栗林管理 → 来年度から。うまくいけば・・・。
- クマやイノシシから作物を守り栽培の難しさを痛感しながら、地区の課題解決に繋げるとともに地元の方々との「ものづくりの楽しさ」を味わう日々を送っています。

支援員としての次年度目標



取り組みたいこと

● 例えば、ハックルベリー。
密集した植付け マルチの使用 頻繁な灌水
→ 120株のうち、半分以上が枯れる事態に！

そこで今年度は → 間隔を大きく開けた植付け・マルチの不
使用 極力灌水を控えた対応

● 加えて、今年度は、初めて栗林の管理に着手！
→ 剪定の仕方、病気・虫害防除の方法や留意点、
収穫後の処理 間違えれば、栗の木が枯死



**確実なサポートを遂行するための
確かな知識と技術を磨く！**

課題と今後の展望

課題

- 参加者の継続率向上の余地
 - 参加者が継続的に参加できる仕組みづくり
- 活動資源の拡充
 - 規模拡大に伴い、資金や資材の確保が必要
- 情報発信の強化
 - 活動を内外により広く伝える仕組みが不足



今後の展望

- より多くの地域住民に主体的に参加してもらえるイベントを企画
- 地域おこしに役立つ補助金の獲得
- ホームページ作成、SNS発信の充実
- 地場産品の開発強化と販路拡大

